

# 廃液等引渡伝票の記入方法

令和6年6月17日

施設保全課 環境安全センタ担当

# はじめに

別紙様式第2号 廃液等引渡伝票						
			研究室等整理番号	○○○○○○		
ブロック番号	5:理工学部4号館 建屋吹き抜け通路(1F)		引渡年月日	'○○年 ○月 ○日		
部局	理工学研究科学研究科		TEL	○○○○		
研究室等名	物質科学科応用化学コース ○×研究室					
責任者職・氏名	准教授 秋大 太郎					
無機系廃液	廃液等分別収集区分		摘要	個数	排出量	※センター処理状況
	A	水銀系廃液		個	L	
	B	シアン系廃液		個	L	
	C	フッ素・リン酸系廃液	PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> , NaOH, Fe, Li, SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> , H <sub>2</sub> O <sub>2</sub> , HCl, NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> , CH <sub>3</sub> COOH	1	20	
	D	酸及びクロム混酸廃液		個	L	
	E	重金属系廃液	As, Fe, Na, Al, K, Pd, I, Si, SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> , NaOH, H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> , HCl, H <sub>2</sub> O <sub>2</sub> , Au, CTAB, 硝酸銀, アスコルビン酸	4	80	
	F	アルカリ系廃液		個	L	
	G	写真定着廃液		個	L	
有機系廃液	H	可燃性廃溶剤		個	L	
	I	廃油		個	L	
	J	ハロゲン系廃溶剤		個	L	
	K	難燃性有機廃液		個	L	
有害固形廃棄物	L	-1	水銀系	可燃、不燃		kg
		-2	シアン系	可燃、不燃		kg
		-3	フッ素・リン酸系	可燃、不燃		kg
		-4	重金属系	可燃、不燃		kg
		-5	有機系	可燃、不燃		kg
		-6	その他	可燃、不燃		kg

- ① 廃液等引渡伝票について、①～②の欄に分けて、記入方法を説明します。
- ②

# 1. 部局・研究室等名他

ブロック番号	5:理工学部4号館 建屋吹き抜け通路(1F)	研究室等整理番号	〇〇〇〇〇〇
部局・研究室等名	理工学研究科学研究科 物質科学科応用化学コース ○×研究室	引渡年月日	'〇〇年 〇 月 〇 日
責任者職・氏名	准教授 秋大 太郎	TEL	〇〇〇〇

## 【記入方法】

- 「引渡年月日」は廃液の回収日を記載する（必須）
- 「部局・研究室等名」、「TEL」、「責任者職・氏名」は環境安全センターの「登録連絡窓口台帳」に登録した内容で記入する（必須）
- 「ブロック番号」は、右表に示す廃液の回収場所に対応する番号（①～⑨）を記入
- 「研究室等整理番号」は各研究室等で分類が必要な場合に記入

ブロック番号	ブロック（回収場所）名称
①	総合研究棟—地方創生センター2号館ピロティ（1F）
②	理工学部4号館 建屋吹き抜け通路（1F）
③	実習工場 東側
④	理工学部2号館 G棟北側ピロティ
⑤	教育文化学部3号館 北側玄関（一般教養）2号館側
⑥	国際資源学部1号館 正面玄関
⑦	鉱業博物館入り口
⑧	医・臨床医学研究棟—管理棟横のピロティ（1F）
⑨	医・基礎講義棟 東側玄関

## 2. 個数・排出量他

廃液等分別収集区分			摘要	個数	排出量
無機系廃液	A	水銀系廃液		個	L
	B	シアン系廃液		個	L
	C	フッ素・リン酸系廃液	PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup> , NaOH, Fe, Li, SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> , H <sub>2</sub> O <sub>2</sub> , HCl, NH <sub>4</sub> <sup>+</sup> , CH <sub>3</sub> COOH	1 個	20 L
	D	酸及びクロム混酸廃液		個	L
	E	重金属系廃液	As, Fe, Na, Al, K, Pd, I, Si, SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> , NaOH, H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub> , HCl, H <sub>2</sub> O <sub>2</sub> , Au, CTAB, 硝酸銀, アスכולヒン酸	4 個	80 L
	F	アルカリ系廃液		個	L
	G	写真定着廃液		個	L
有機系廃液	H	可燃性廃溶剤		個	L
	I	廃油		個	L
	J	ハロゲン系廃溶剤		個	L
有害固形廃棄物	L	K	難燃性有機廃液	個	L
		-1	水銀系 可燃、不燃		kg
		-2	シアン系 可燃、不燃		kg
		-3	フッ素・リン酸系 可燃、不燃		kg
		-4	重金属系 可燃、不燃		kg
		-5	有機系 可燃、不燃		kg
	-6	その他 可燃、不燃		kg	

### 【記入方法】

- 「個数」には、各区分別の排出容器の個数を記入（必須）
- 「排出量」には、各区分別の排出量の合計を記入（必須）
  - 廃液はL、固形廃棄物はkgで記入
  - 有害固形廃棄物は-1～6の分類と可燃／不燃別で分別する
- 「摘要」には、含有する全ての成分を記入
  - 記入方法は秋田大学有害廃棄物暫定処置指針に従う